



金閣再建

“世界各国の要人が来日の度、絶賛する建物がある。「究極の頂」と呼ばれる3階の天井には、3千枚の金箔が歪みなく敷き詰められている。しかし、この金閣は、52年前に一度、放火で全焼している。そこから再建を成し遂げたのは、矢口一夫さん、北原久さん、柳生健智さんをはじめとする、全国の職人たちの30年に及ぶ意地と執念だった。(NHK「プロジェクトX」より)”



9月13日(水)の道徳の授業で、修学旅行で訪れる予定である、金閣寺の再建に関わった人たちやその思いを凝縮したドキュメンタリーをみました。再建に込められた思いを知って、金閣の見方が変わってきたのではないのでしょうか。感想を紹介します。

生徒の感想(わかったこと・考えたこと・感想)

- ・金閣寺をいろいろな人が関わってきたのを知って、すごく苦勞したんだなと思った。
- ・金閣は、職人の手で大切に造られたと分かったので、これからも大切にしてほしいと思いました。
- ・金閣寺を再建するには、たくさんの人が携わっていて大変なことだったんだなと思いました。金箔がはがれない漆を探したり、1人で3千枚の金箔を貼ったりしていたのはすごいと思いました。
- ・金閣寺を造った人々は、たくさん苦勞して造ったんだなと思いました。何度も失敗をしてもあきらめずにいてすごいなと思いました。また、一人で3千枚の金箔を貼ることはとても苦勞したんだなと思いました。
- ・矢口さん、北原さん、柳生さんの三人が力を合わせ、金閣寺を完成させたことがとてもすごかったので、私も将来にあの三人の方のように誰かの役に立てるような仕事をしたいなと思いました。
- ・私は、「やるからには本気でやって矢口の気持ちについていく」というのがすごいなと思いました。また、金閣寺を600年もつなげたいと強く思っているのはすごいなと思いました。自分もあきらめず何かに集中して熱中してみたいです。
- ・職人の意地・魂を感じた。職人の力を結集しても難しいことを室町時代の人たちは造ったと思うとすごいと思った。
- ・かっこいいなと思いました。職人としてすごいなと思いました。また、一夫さんの金閣への思いが叶ってよかったです。

呉市児童生徒科学作品展に行ってきました！(9月9日(土))

呉市児童生徒科学作品展に、住田さん・丸山さん・井上くんの科学研究が展示されました(入選)。3人の研究や、呉市の児童生徒の研究は、どれも大変よく考えられたもので、見ていて興味深かったです。

